



立西巻き

尼崎市立立花西小学校

2026.1.23(金)

No.52

〔校長先生つぶやき、つぶやく(校長だより)〕

近くて遠い？遠くて近い？

2年ぶりくらいでしょうか。柿の種の長男(柿の種についてはNo.40参照)が仕事の休みを頂きやっと、帰省しました。柿の種の長女も兄に会うため、仕事をリモートにし、帰省してきました。18日(日)の晩に帰ってきたのですが、同じ家にいながら、それぞれの仕事や時間の使い方の違いで、全員がそろって顔を合わせたのは、なんと21日(水)の夜でした。全員が同じ家にいながら、そろうのは3日後でした。こんなに近くにいるのに会えない。近くて遠い笠井一家という感じです。それでも、久しぶりに顔をあわせた家族は、以前と変わらず、ずっと一緒にいたかのように話が盛り上がり、笑いであふれました。柿の種達が社会へ巣立ってからは、夫婦二人の生活になり、ある物ご飯ですましていたところが、この度は、大量のおでんやお鍋といった囲む食事を用意しました。柿の種達に食事をつくることも、洗い物の多さも、いつも以上に家に綿ホコリがたっていることも、なんだかこれって幸せなことだなとしみじみ感じています。

子ども達が小さな頃は、毎日に追われ、疲れ切り、かける言葉も余裕がない。一刻も早く、食事を済ませ、お風呂に入れ、寝かしつけなければいけない・・・子どもによく言う言葉ランキング No.1 は「はよして～」が確定です。「はよして～♪」ならまだしも「はよして!(怒)。」からの「はよ(怒怒怒)!!」までの移行時間は、どんどん短くなっていたのを思い出します。宿題の音読を聴きながらの食卓用意と洗濯物取り込み。「はよ大きくならんかなあ・・・。」が成長を加速させるためのおまじないでしたね。

次の日の身支度が子どもだけで出来るようにとハンカチ・ティッシュ・名札・給食袋・・・と動線を考えた家具配置。わかりやすくラベリングもして「完璧♡」と自己満足に浸るも、あっという間に左写真絵図。これは、2013年12月23日20時頃の激写です。「明日の夜に、サンタさんが来るかどうか、このままではどうなんかな。」

と現場証拠写真として使用しました。12年前くらいのことですが、つい最近のこのように思い出します。

立花西小学校453人のおうちの方も、現在進行形で、日々、格闘しておられることが想像できます。今この時刻にも「はよ起きや。」「はよ食べや。」「はよ歯みがきしいや。」の『はよ祭』が開催されていることでしょう。がんばれ～。お父さ～ん、お母さ～ん。(*へへ*)

思い起こせば、子育てはあっという間に終わってしまいます。なんだかんだ言うても、小学生の時が一番子どもがくっついてきて、ふにゃふにゃ言うし、よくわからん出来事を聴かされるし、お風呂では、しっかり身体を洗えていないし、着ているトレーナーは後ろ前逆だし。大変だけど、なんだかふふふと笑えます。大変だけど、今が一番楽しい時でもあります。どうぞ、子育ての大変を楽しんでくださいね。

柿の種が帰省して、「近くにいっても、なかなか話す時間もなく、遠くを感じるけど、遠くに行ってしまうと、心はいつも柿の種達の一番近くにいる」と感じる本日。柿の種の長男はまた遠いところへ行ってしまいます。ちょっぴり寂しいけれど、学校へ行けば453人の柿の種達が「おはようございます」と迎えてくれるのです。